

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



第 54 回和道会全国空手道競技大会



第54回和道会全国空手道競技大会

組手団体戦
少年男子

白水修養会が2連覇達成

形個人戦
一般男子有段

伊藤瑠威が悲願の初優勝

(錬成館)



組手団体戦・少年男子の部・決勝次鋒戦＝
白水修養会・山田航生（右）が上段突きで攻める

第54回和道会全国空手道競技大会

(主催) 全日本空手道連盟・和道会、

後援 II 日本武道館・全日本空手道連

盟) は、8月18日に浦安市運動公園

総合体育館で、19日に日本武道館で

2日間にわたって開催された。

大会には小学1年生からシニアま

で幅広い年齢層の選手が出場し、組

手競技と形競技の全42部門で熱戦が

繰り広げられた。

■組手団体戦

▽少年男子の部(5人制)

11チームが参加。決勝戦は昨年優

勝の白水修養会と一昨年優勝の東洋

大学牛久高校が対戦。両チームとも

危なげない試合運びで決勝まで勝ち

上がった。

先鋒戦は白水修養会・吉野と東洋

大牛久・朝野が対戦。吉野が上段突

きを三連続で決め、3ポイントを連

取。朝野は巻き返しを図るも一歩及

ばず時間切れで、吉野が先勝する。

次鋒戦、白水修養会・山田と東洋

大牛久・近藤の試合は、山田が上段

突きで先制するも近藤が中段突きで

追いつく。最後は山田が上段突きを

連続で決め、3-1で勝利し、優勝



組手団体戦・一般女子の部・決勝中堅戦＝
立教大学・鈴木菜未（左）が勝利し、優勝を決めた



組手団体戦・一般男子の部・決勝中堅戦＝
東洋大牛久櫻和会・山口湧太郎（左）の
上段突きが決まり先取する

に王手をかける。

中堅戦の白水修養会・荒川と東洋大牛久・川崎の試合は、まず荒川が上段突きでポイントを奪う。試合後半で川崎が上段突きで追いつく。しかし、先取のアドバンテージを活かした荒川が1―1の接戦を制し、白水修養会が3連勝で優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ白水修養会・岩崎拓也監督
「選手たちは普段の稽古から気負うことなくリラックスして練習していました。5人ともコミュニケーションを良くとっていたことで、自分たちで大会前にしつかりと準備ができ、自信を持って大会に臨めたと思います。試合では稽古の成果を発揮してくれて、一人一人の良いところが出たと思います」

◎優勝Ⅱ白水修養会・荒川雅俊選手
「先輩たちが去年優勝したことで、自分たちも負けられないという思いが強かったです。この大会を目標に全員が優勝を意識して普段から稽古をしてきました。仲間がいたことで緊張せず、試合に臨むことが出来ました」

▽一般男子の部（5人制）

8チームが出場。決勝戦は昨年優勝の東洋大牛久櫻和会とKICK大心館が対戦。互いに1勝1敗で迎えた中堅戦は東洋大牛久櫻和会・山口が7本の上段突きでポイントを奪い、7―5で勝利。続く副将戦は互いに譲らず5―5で試合時間終了となり、先取を活かした東洋大牛久・藤原が勝利。チームの優勝を決めた。

▽一般女子の部（3人制）

22チームが出場。決勝戦は立教大学と敬和会。互いに前年優勝チームの白水修養会と準優勝の東洋大牛久高校を破って決勝進出。先鋒は互いに攻め手を欠き膠着状態に。試合後半に立教大学・木村が上段突きを4本連続で決めて勝利。中堅の立教大学・鈴木も上段突きでポイントを奪い勝利。立教大学が優勝した。

▽都道府県の部

9チームが参加。決勝は静岡県と宮城県が対戦。静岡県は、昨年覇者の愛知県に競り勝った勢いそのままに宮城県を3―1で破って、優勝を果たした。



組手個人戦・大学生男子有段の部決勝＝
名空会本部・櫻井隼人（左）が中段突きを決める



組手個人戦・一般女子有段の部決勝＝
誠和会・内田千奈美（右）が上段突きを決めて優勝



組手個人戦・小学6年女子の部決勝＝
蒼鷹会の田中詩（左）が終始積極的に
攻めて初優勝を飾る

■組手個人戦

▽小学6年生女子の部

41名が出場。決勝には蒼鷹会・田中詩と育英館武道場・内海麻利菜が勝ち進んだ。試合開始直後から田中は積極的に前に出るが反則を取られる。その後は得意の突きでポイント奪い、終わってみれば6―0の完勝。田中が念願の初優勝を飾った。

◎優勝Ⅱ田中 詩選手（蒼鷹会）

「小学1年から出場して初めて優勝できてうれしいです。今日は絶対優勝するぞという気持ちで頑張りました。普段から間合いの取り方を意識して練習してきた成果が出せました。応援してくれた先生や友達に感謝しています」

◎眞島和也監督（蒼鷹会）

「田中は練習でもリーダーシップを発揮してくれています。みんなのお手本のような選手です。中学校に進学しても自分の組手に自信を持っています。今日は反則を取られることが多かったですが、前に出ている証拠なので長所として伸ばしていってほしいと思います」

▽大学生男子有段の部

76名が出場。決勝に進んだのは櫻井隼人（名空会本部）と田村仁（明治大学）。試合序盤から櫻井が積極的に攻めて上段突き、中段突きでポイントを取取る。櫻井は、その後もポイントを重ね、5―1で勝利。櫻井が2連覇を果たした。

▽一般女子有段の部

34名が出場。決勝戦はこの大会2連覇の経験がある内田千奈美（誠和会）と昨年優勝の鈴木葉未（立教大学）が対戦。両者一進一退の攻防が繰り広げられる。鈴木が上段突きで先制するも、負けじと内田も上段突きで追いつく。終了のブザーと同時に放った内田の上段突きが決まり、逆転勝利。内田が2年振りに女王に返り咲いた。





形個人戦・シニア女子 40 歳以上の部
優勝＝雑賀弘美（昇政塾）



形個人戦・一般女子有段の部
優勝＝児玉百奈美（俊和義塾）



形個人戦・一般男子有段の部
優勝＝伊藤瑠威（鍊成館）

■形個人戦

▽一般男子有段の部

36 名が出場。3 連覇中の伊藤祥太（秀道館）と初優勝を狙う伊藤瑠威（鍊成館）が決勝に進出。伊藤（祥）がチントウ、伊藤（瑠）がワンシユウを演武。両者気迫溢れる演武を披露。判定の結果、3―2 の接戦を制し、伊藤（瑠）が伊藤（祥）の 4 連覇を阻止して初優勝した。

◎優勝Ⅱ伊藤瑠威選手（鍊成館）

「緊張しましたが、一つ一つの技に意味を込めて楽しんで演武することが出来ました。練習の成果をしっかりと出せたことが今回の結果につなが

ったと思います。今後は和道会の子ヤンピオンとして、初心を忘れずに、周りから憧れられる選手になりたいです」

▽シニア女子 40 歳以上の部

44 名が出場。雑賀弘美（昇政塾）と波留智子（三松会）の両者ともクーシヤンクーで臨んだ決勝戦。判定は 5―0 で雑賀に軍配。雑賀が 3 連覇を達成した。

◎優勝Ⅱ雑賀弘美選手（昇政塾）

「今回で通算 6 回目の優勝になります。昇政塾は親子で稽古に励む人がたくさんいます。私の子どもが 3 人とも空手道をやっていたこともあり、家族でも空手の話題になることが多いです。鋭い指摘をしてくれるので、良きコーチとしてアドバイスを貰っています」

▽一般女子有段の部

28 名が出場。決勝戦は児玉百奈美（俊和義塾）と小林咲穂（秀道館）の対戦。児玉はチントウ、小林はワンシユウで決勝戦に臨み、旗判定の結果、3―2 で児玉が勝利。児玉が 2 連覇達成。



組手個人戦・小学1年男女の部
優勝＝冨塚大輝（茂原・左）



組手個人戦・シニア男子50歳以上の部
優勝＝藤本秀樹（神岡道場・右）



形個人戦・小学3年男女の部
優勝＝角江陸空（JFE福山）



組手個人戦・小学6年男子の部
優勝＝渡邊陽輝（美濃・右）



組手個人戦・シニア男子40歳以上の部
優勝＝中村善行（茂原・左）

【大会結果】 ※優勝のみ

《組手団体戦》

▽都道府県対抗Ⅱ宮城県▽一般男子Ⅱ東洋大牛久櫻和会▽大学生男子Ⅱ明治大学▽一般女子Ⅱ立教大学▽少年男子Ⅱ白水修養会

《組手個人戦》

▽シニア男子50歳以上Ⅱ藤本秀樹（神岡道場）▽シニア男子40歳以上Ⅱ中村善行（茂原）▽シニア女子40歳以上Ⅱ齊藤師保（一道塾）▽一般男子有段Ⅱ岡本小鉄（三井造船玉野）▽大学生男子有段Ⅱ櫻井隼人（名空会本部）▽一般男子有級Ⅱ東別府健（東京大学）▽一般女子有段Ⅱ内田千奈美（誠和会）▽一般女子有級Ⅱ堀口珠佑（早稲田大学誠心会）▽少年男子Ⅱ荒川雅俊（白水修養会）▽少年女子Ⅱ嶋田さらら（敬和会）▽中学男子Ⅱ川熊海斗（菊田道場）▽中学女子Ⅱ千葉満利愛（城志館）▽小学6年男子Ⅱ渡邊陽輝（美濃）▽小学6年女子Ⅱ田中詩（蒼鷹会）▽小学5年男子Ⅱ林幹大（美濃）▽小学5年女子Ⅱ奥村友紀（旭）▽小学4年男子Ⅱ小森八一（美濃）▽小学4年女子Ⅱ小澤明莉（美濃）▽小学3年男女Ⅱ澤田未来（愛空塾本部）▽小学2年男女Ⅱ大野心華（水風会愛西）▽小学1年男女Ⅱ冨塚大輝（茂原）

《形個人戦》

▽シニア男子40歳以上Ⅱ沖本貫志（岩国）▽シニア女子40歳以上Ⅱ雜賀弘美（昇政塾）▽一般男子有段Ⅱ伊藤瑠威（鍊成館）▽一般男子有級Ⅱ日比忍（羽島）▽一般女子有段Ⅱ児玉百奈美（俊和義塾）▽一般女子有級Ⅱ押田真由子（茂原）▽少年男子Ⅱ藤井健瑠（杉浦鍊成塾本部）▽少年女子Ⅱ吉場仁奈（霞ヶ関空手倶楽部）▽中学男子Ⅱ坂本嘉之（無心会）▽中学女子Ⅱ須賀田華弥（茂原）▽小学6年男女Ⅱ菊池晴香（茂原）▽小学5年男女Ⅱ阪井賢人（秀道館）▽小学4年男女Ⅱ室伏優衣（岐阜）▽小学3年男女Ⅱ角江陸空（JFE福山）▽小学2年男女Ⅱ角江歩空（JFE福山）▽小学1年男女Ⅱ川治郁也（秀道館）



形個人戦・少年女子の部
優勝＝吉場仁奈
(霞ヶ関空手倶楽部)



組手個人戦・少年女子の部
優勝＝嶋田さらら (敬和会・左)



組手個人戦・一般女子有級の部
優勝＝堀口珠佑
(早稲田大学誠心会・左)



形個人戦・中学生女子の部
優勝＝須賀田華弥 (茂原)



形個人戦・小学6年男女の部
優勝＝菊池晴香 (茂原)



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体 1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、
双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、
園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

日本武道館の単行本

空手評論家
金城

裕
(さんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光 日本武道館会長

唐手から空手へ

日本武道館

金城 裕

(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手^{からて}の精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある――。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長
父母の教え、「からて」との出会い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

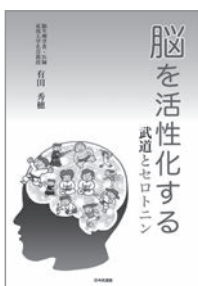
(四六判・上製・372頁)

脳を活性化する

武道とセロトニン

東邦大学名誉教授

有田秀穂 著



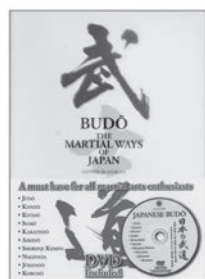
人間の心身を安定させるセロトニン——。その研究の第一人者が、誰もができる脳を活性化させる方法をわかりやすく解説。

(A5判・並製・346頁)

BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編



武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷将俊 著



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)

日本武道学会第51回大会

生涯武道をテーマに各道の現状を探る

シンポジウム「生涯武道の現状とこれから」



障害者武道
松井完太郎氏



なぎなた
関根恵児氏



弓道
松尾牧則氏



剣道
数馬広二氏



空手道
岡崎紀創氏



柔道
曽我部晋哉氏



司会の三村由紀氏（左）と
大石純子氏

シンポジウム＝関根恵児氏によるなぎなたの報告

9月4日・5日の2日間、東京学芸大学小金井キャンパスにて、日本武道学会第51回大会が開催された。

初日にはスポーツ庁による基調講演「スポーツを通じた健康増進の取組について」が行われ、続くシンポジウムでは「生涯武道の現状とこれから」と題して、各専門分科会から各種武道における現在の実情についての報告がなされた。2日目の午後には柔道、剣道、空手道、障害者武道、弓道の各専門分科会が行われた。また、2日間にわたり、人文・社会科学、自然科学、武道指導法、ボスターの4部に分けて計84題の一般研究発表があった。

◆基調講演「スポーツを通じた健康増進の取組について」

スポーツ庁の安達栄健康スポーツ課長により、基調講演が行われた。「そもそもスポーツの語源はラテン語で「楽しむ」である。スポーツといえは競技スポーツが注目されるが、多くの人々に親しんでもらうことも重要なことです。スポーツ庁はスポーツが変える。未来を創る」



安達栄スポーツ庁
健康スポーツ課長

のキーワードのもと、他省庁とも連携して多様な施策を展開している。また、2017年より5年間、第2期のスポーツ基本計画を展開している。この時期はオリンピックをはじめとした主要な国際大会が日本で目白押しである」と現在のスポーツ庁の方針が述べられた。

安達氏は続けて「現在、週に1回以上スポーツを行う人は全体で51%であるが、これを2020年までに65%に増やしたい。新たに約1000万人にスポーツに触れてもらうことが目標である。現在、国の予算の3割が社会保障費である。スポーツは健康寿命を伸ばすことができ、社会保障費を抑える意味でもスポーツの効果はかなり大きい。またストレスの抑制にも繋がり、スポーツを行っている人ほど充実度が高いという報告がある」と健康面におけるスポーツの効果と、それに付随してスポーツの促進が国家的な重要事項にな

っていることを説明した。

最後に「スポーツ審議会では健康スポーツ部会を立ち上げた。今後、企業、競技者、高齢者、女性、子どもなどそれぞれに対応した取組を行っていききたい」と結んだ。

◆シンポジウム

「生涯武道の現状とこれから」

「生涯武道の現状とこれから」と題するシンポジウムが、三村由紀（防衛大学校）、大石純子（筑波大学）両氏の司会のもと、進められた。

始めに大石氏より「生涯武道」をテーマとした本企画は複数年のスパンで考えており、今回はその第一段階としてそれぞれの武道の実態を知り、武道全体を俯瞰する準備を整えたいと説明がなされた。

続いて各専門分科会より、各道の報告がなされた（①競技と競技以外の部分の現状、②各年齢層における実践のされ方の現状、③今後の課題）。



▽柔道Ⅱ曾我部晋哉（甲南大学）

①柔道は、1882年、嘉納治五郎

師範によって創設。1964年の東京五輪で初めて五輪種目として実施された。2007年からは形競技大会も開催されている。

②学校教育における柔道人口が減っている。

③生涯柔道の意義は大きいもの。今後、新たな柔道の価値を創出することが大切である。

▽空手道Ⅱ岡崎紀創（全日本空手道連盟）

①組手・形の両種目が各世代に普及している。両方の種目が空手道にとって重要である。

②近年、日本スポーツ協会加盟全国体の少年団員は年々減少しているが、全空連会員は小学生・高校生において増加傾向にある。

③種目としての3要素「する」「見る」「支える」の中で、空手道は「する」がほとんどである。今後「見る」「支える」に重点を置く必要がある。

▽剣道Ⅱ数馬広二（工学院大学）

①剣道は競技以外の部分も重視している。1896年、第1回武徳祭演武大会の中で剣道試合が実施された。1975年に「剣道の理念」を制定。現在、1年間に全剣連主催に

より51大会が実施されている。
②剣道はシニア層で定着率が40%であり、こういった面でも生涯武道に繋がっている。

③指導者が伝統的な稽古法の良さを理解しつつも、多様な層を満足させるために指導法を工夫することが望まれる。

▽弓道Ⅱ松尾牧則（筑波大学）

①②競技人口は約13万人。競技層としては高校生が多く（20年にわたって約6万人を維持している）、中学校では地域差がある。シニアへの普及はうまくいっている。

③大学卒業後に弓道の実施環境がなく、弓道から離れていく若者が多い。課題は、若年層の弓道継続にある。

▽なぎなたⅡ関根恵兒（東京都なぎなた連盟）

①競技会では、演技競技と試合競技の2種類がある。稽古者は競技会に参加する者、生涯武道として取り組む者など、さまざまである。

②有段者登録数はおよそ8700名。多くの小・中学生が少年少女武道錬成大会に参加している。他には60歳以上の高齢者が目立つ。

③若者や子どもの稽古者増加が課題となる。

▽障害者武道Ⅱ松井完太郎（国際武道大学）

①武道は根本的に障害者に開かれた体系をもつ武術。モチベーションを維持する仕掛けとして「稽古Ⅱ級位・段位」、「競技」がある。

②障害者は増加傾向にあり、人口規模でマイノリティーは障害者ではなく武道側である。2021年には特別支援学校でも武道が必修となる。

③課題は、障害者にとって武道が効果的であるという科学的な根拠を明らかにすることである。



最後に三村氏は「武道は、仕来り、作法など取っ付きにくい部分がある。しかし様々な考えを許容する武道でありたい。多様性は可能性であり、武道の可能性に気づいたシンポジウムであった」とまとめた。



好評発売中

絵と文 中村 麻美 (なかむら まみ)

F4判・上製・98頁・定価(本体2700円+税)

伝えたい日本のところ



中村 麻美 (なかむら まみ) 画家・挿画家。
三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大
学卒。大学在学中、日本画教室(田中峰雪氏
に師事)にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教
授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK
BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、
絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした
日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、
テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者
などの挿画を手がける。また、原作新聞小説

挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以
降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。
代表作に『天地人丸紋絵巻』(兼続お船ミュージアム所蔵)、『斎
王』(三重県立斎宮歴史博物館所蔵)など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本
画と解説文で「日本のところ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人
間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」——こうした万国共通の願
い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりで
す。(本書「あとがき」より)

目次

- 一 かしこい小僧さん
- 二 ひより越え
- 三 天の石屋戸
- 四 巖流島の決闘
- 五 太田道灌と少女の歌
- 六 三本の矢の教え
- 七 山中鹿介——我に七難八苦を与えたまえ
- 八 良寛さまと笛
- 九 民を慈しむ仁徳天皇
- 十 中江藤樹——母への葉
- 十一 夫の危機を救う弟橘媛
- 十二 良子斎王——別れの御櫛
- 十三 桜井駅の別れ
- 十四 八俣の大蛇
- 十五 川中島の戦い——謙信と信玄
- 十六 紅梅内侍と鶯の宿
- 十七 新羅三郎義光——笙の秘曲を授ける
- 十八 小松姫——夫の居城を守りぬく
- 十九 青の洞門
- 二十 鍋島直茂と接ぎ木
- 二十一 小林虎三郎——米百俵の精神
- 二十二 島津義弘——関ヶ原敵中突破
- 二十三 光明皇后——千人のからたを洗う
- 二十四 城戸俊三——勝利を捨てて愛馬を救う
- 二十五 松坂の一夜
- 二十六 柳に飛びつく蛙
- 二十七 称名寺『青葉の楓』
- 二十八 神武天皇ご東征
- 二十九 本多忠朝とサンフランシスコ号
- 三十 つるべの朝顔
- 三十一 野中兼山——海に捨てたはまぐり
- 三十二 鉢の木
- 三十三 因幡の白うさぎ
- 三十四 堪忍のわび証文
- 三十五 橘曙覧『独楽吟』
- 三十六 南総里見八犬伝
- 三十七 吉田松陰の志
- 三十八 鳥居強右衛門の勇氣
- 三十九 明智光春——譽れの湖水渡り
- 四十 赤穂義士の討ち入り
- 四十一 頼朝を助けた梶原景時
- 四十二 真田幸村——大坂の陣
- 四十三 天照大御神と美し国・伊勢
- 四十四 和田勇——祖国にオリンピックを招致
- 四十五 長岡花火『白菊』



編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

◎好評発売中

筑波大学教授 酒井利信 著

四六判・上製・346頁・本体2400円＋税

刀剣の歴史と思想

刀剣を単なる武器としてではなく、
神聖なものとして捉える思想とは何か――



題字揮毫―鹿島神宮 鹿島則良 宮司

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

目次

序章	第二章 刀剣思想の源流
第一節 探求の旅をはじめににあたって	第二節 古代中国の宝剣伝説 太阿の剣
第二節 刀剣の歴史	第三節 干将莫耶の宝剣伝説
第三章 刀剣思想の源流	第四節 高祖の斬蛇剣
第一節 古代朝鮮の刀剣思想	第五節 道教と剣
第二節 神話的世界の形成と剣神の誕生	第六章 近現代における刀剣思想の展開
第一節 天より降る剣 節霊剣	第一節 近代以降の刀剣思想
第二節 天地を繋ぐ剣 草薙剣	第二節 古代と現代を繋ぐ刀剣
第三章 信仰のなかの刀剣思想	終章 稽古照今
第一節 祀る剣 祀られる剣	
第二節 辟邪の呪剣	
第三節 うけいの呪術と剣	
第四章 中世における刀剣思想	
第一節 修験道と剣	
第二節 三種の神器の不思議	
第三節 『平家物語』にみる三種の神器	
第五章 近世剣術における刀剣思想	
第一節 『太平記』が語る草薙剣像	
第二節 剣術伝書に語られる日本神話	
第三節 新当流にみる霊剣の技術	
第四節 示現流にみる心の利剣	
第六章 近現代における刀剣思想の展開	
第一節 近代以降の刀剣思想	
第二節 古代と現代を繋ぐ刀剣	
終章 稽古照今	

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第9回全国空手道指導者研修会

中学校
高等学校

空手道指導者の資質向上を図る



千葉佳永子講師による基本形一の指導

第9回全国空手道指導者研修会

（主催）日本武道館・全日本空手道連盟・全国高等学校体育連盟空手道専門部・全国中学校空手道連盟、後援（スポーツ庁）は8月16日～18日の3日間、東京・辰巳の日本空手道会館で、講師・助講師11名、参加者39名が集まって行われた。

本研修会は、平成24年度から完全実施された中学校武道必修化の充実に向け、日本全国で空手道を指導する中学校、高等学校の指導者を対象に、我が国固有の伝統と文化に立脚した研修会として実施され、教科体育「空手道」の理解を深め、空手道の授業指導法および専門的な知識・技術の充実を図り、もって中学校、高等学校空手道指導者の資質向上に資する目的で行われた。

■1日目（8月16日）

開講式では、はじめに笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶に立ち、「厳しい暑さが続く中、本研修会にお集まりいただきありがとうございます。空手道が正式種目となった2020年オリンピック東京大会まで、あと2年となりました。オリンピックの目標の1つに『安全と健康』ということがあり、空手道はそれに合致しています。オリンピックの正式種目になることの意義は、多くの人に空手道を見ていただいて、『楽しそう。やってみたい』と思ってくだくことにあります。また、文部科学省が提唱している生涯スポーツにも、空手道は合致しています。『空手道は安全で健康である』というこ

講師・助講師 一覧

講義講師

栗原 茂夫 全日本空手道連盟副会長

講師

岩城 公二 全国中学校空手道連盟副会長・富山市立八幡小学校校長
 小山 正辰 森ノ宮医療大学特任教授・広報室参事・大阪大学兼任講師
 日野 一男 実践女子大学名誉教授・日本ハラスメント&リスクマネジメント総合研究所代表
 千葉佳永子 近畿地区中学校空手道連盟常任相談役・大阪府中学校空手道連盟副会長
 井下 佳織 麗澤大学准教授

助講師

松田 健 名護市立小中一貫教育校屋我地ひるぎ学園屋我地中学校教頭
 佐藤 彰 神奈川県立平塚工科高等学校教諭
 中村 武志 全国中学校空手道連盟副理事長・群馬県太田市立城西中学校教諭
 亀山 歩 国土館大学体育学部武道学科講師・空手道部監督
 竹見 国雄 神奈川県整鍼灸専門学校柔整科学生指導学科長・日本体育大学非常勤講師・空手道部監督



とを、生徒や保護者、学校関係者にお話しいただいて、1校でも多くの中学校で採用していただくと大変ありがたいと思っております」と述べた。

続いて、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長が主催者挨拶に立ち、「今年度の研修会は、中学校・高等学校の保健体育科教員を参加対象の中心に目的を絞り、空手道授業の推進と充実のために実施いたしました。中学校武道必修化も6年が過ぎ、初年度は120校程度だった空手道授業採用校が、現在は260校まで増えました。これは笹川会長をはじめ、



三藤芳生
日本武道館常任理事・事務局長



笹川堯
全日本空手道連盟会長

関係する先生方のご尽力の賜物です。2年後には、2020年オリンピック東京大会が日本武道館で開催されます。また、次期学習指導要領には空手道を含む武道9種目が中学校武道授業の実施種目として並列明記されるということで、空手道には追い風が吹いています。これから空手道は脚光を浴び、世界中に広まっていきます。参加された先生方には、指導者としての資質と指導力の向上を図るとともに、どのように生徒を立派に育てるか、楽しい指導をして効果を上げるかを講師の先生方から学び、有意義に研修が進むことを期待しております」と述べた。

開講式終了後、栗原茂夫講義講師が「2020年東京五輪に向けた取組・中学校武道必修化について」と題して講義を行った。はじめに、2020年オリンピック東京大会に空手道が採用された経緯を説明した後、全日本空手道連盟の設立目的、沿革を説明した。中学校武道必修化については、空手道授業採用校数について触れ、「皆様がこの研修会で身に付けたことを、生徒に還元していただくことに大きな意義がありま



初心者班では、先生役は生徒役からフィードバックを受けた



千葉佳永子講師による上段受けの指導

「と述べた。続いて、日本武道協議会発行の「中学校武道必修化指導書」付属DVDの武道編を全員で視聴した。

その後、初心者班（空手道を専門としない本研修会に初めて参加する者・14名）、中級者班（空手道を専門としないが既に空手道授業を行っている、または過去の研修会に参加経験のある者・10名）、上級者班（空手道を専門とする者、有段者・15名）に分かれて、基本動作が行われた。

初心者班は千葉佳永子講師が担当し、はじめに研修会に参加した目的や空手道経験等、参加者の現状を確認した。続いて、参加者同士が握手をして自己紹介をするアイスブレイクを行ってから、空手道の基本的な技術の指導に入った。正座（左座右起）、礼法（立礼、座礼）、黙想を行った後、手の握り方、中段突き、上段突き、順突き、逆突きの練習を行った。そして、翌日行う中学校武道指導実践法に備え、最後に基本形一を行った。

中級者班は井下佳織講師が担当し、参加者1名が先生役、4名が生徒役を担う模擬授業を行った。先生

役には、正面突き、上段受け等の指導内容を設定した。模擬授業後、先生役は、生徒役からフィードバック（ネガティブではない、未来に向けての提案事項）を受けた。

■2日目（8月17日）

午前中は、「中学校武道指導実践法①『空手道授業の現状』」を岩城公二講師が担当した。はじめに講義を行い、日本武道館が実施している「中学校武道必修化に関するアンケート調査」を元に、空手道授業の実施状況を説明した。また、次期学習指導要領の文言を解説した後、授業協力者について「学校は地域の専門的指導を欲している。外部の指導者は、自ら売り込むことが空手道授業採用に繋がる」と述べた。続いて大道場に移動し、実技に移った。突きの指導では、スマートフォンなどICT教材を利用した指導法を実践した。参加者は2名1組のペアを作り、個人が所有しているスマホを活用し、突きの様子を、正面と真横から撮影した。撮影後は、動画を見ながら正中線を突いているか等の動作を振り返り、アドバイスし合った。



スマートフォンを活用した突きの練習



岩城公二講師による講義「空手道授業の現状」



講師・助講師・参加者



小山正辰講師による約束組手の指導

午後は、日野一男講師による「空手道の指導を安全に行うために」の講義に移った。法律の専門家である日野講師は「空手道の技術そのものが原因で、裁判になった事例は1件もない」と強調した。さらに不審者への対策として「空手道は護身術になる。不審者と出くわした際、まず逃げることを考えるべき。空手道は相手と組み合わず、突きや蹴りにより相手と距離を置いて、逃げる時間を与えてくれる」と説明した。

日野講師の講義後は、岩城講師による「中学校武道指導実践法②『団体形演武』」が行われた。はじめに講習の最後に試合形式で行う団体形リーグ戦に向け、初心者班・中級者班・上級者班からそれぞれ1名ずつを選出した3名のチームを作った。



参加者代表の高橋宏道氏に修了証が授与された

続いて、上級班を見本とし、基本形一・二・三の全体練習を行った。団体形リーグ戦で行う形は各チームで話し合って決めることとし、入退場方法等の説明の後、各チームの自由練習時間を40分間設けた。団体形リーグ戦は、4〜5チームが参加するリーグを3つ作って実施され、試合をしないチームは審判員を務めた。団体形リーグ戦終了後、優秀な成績を修めたチームには、全日本空手道連盟と日本武道館より記念品が贈られた。

■3日目（8月18日）

はじめに、「コンディショニングストレッチ」を井下講師が担当し、スタティックストレッチは単独またはペアで、ダイナミックストレッチは音楽に合わせてそれぞれ行い、参加者は身体をほぐした。次に「約束組手」を小山正辰講師が担当した。空手道の歴史の説明をした後、約束組手の立ち方、基本（受け、突き、蹴り）、目付け、間合等を説明した。参加者は2人1組で実践し、最後に自由練習を行った。

閉講式では、松尾貴之日本武道館振興部振興課長が参加者代表の高橋宏道氏（千葉県鋸南町立鋸南中学校教諭）に修了証を授与し、続いて、小山講師が講師講評を行った。最後に、有竹隆佐全日本空手道連盟専務理事が「空手道の教育的普及については、今回参加された皆様にかかっています。現在、中学校空手道授業採用校は261校ですが、2019年には300校、2020年には400校を目指していきたい」と述べ、研修会の全日程を終了した。

（文責・日本武道館振興課）

好評発売中

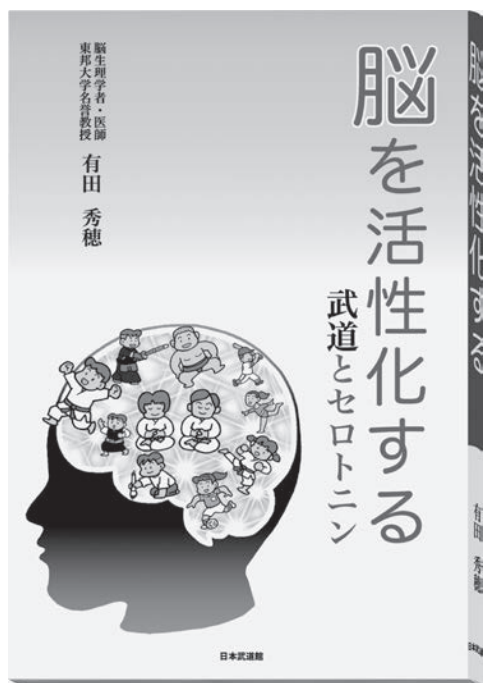
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン
ストレスとしごき
空海はセロトニン活性の達人
『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング
沢庵の「不動智」とワーキングメモリー
不動明王と心の三原色
『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識
悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成
「茶の湯」とセロトニンの生活
「自然に体が動いた」を脳科学で解く
勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する
「武道の礼法」は社会脳を育む
相撲の「四股」は品性を育む
書道も心技体の人間修行
アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり
スキップとオキシトシン
空手の稽古は坐禅修行に通じる
脳は「丹田呼吸法」をどう操るか
試合における最適な覚醒状態
サイエンスは「気」をどこまで解明したか
仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光
東邦大学名誉教授 有田 秀穂

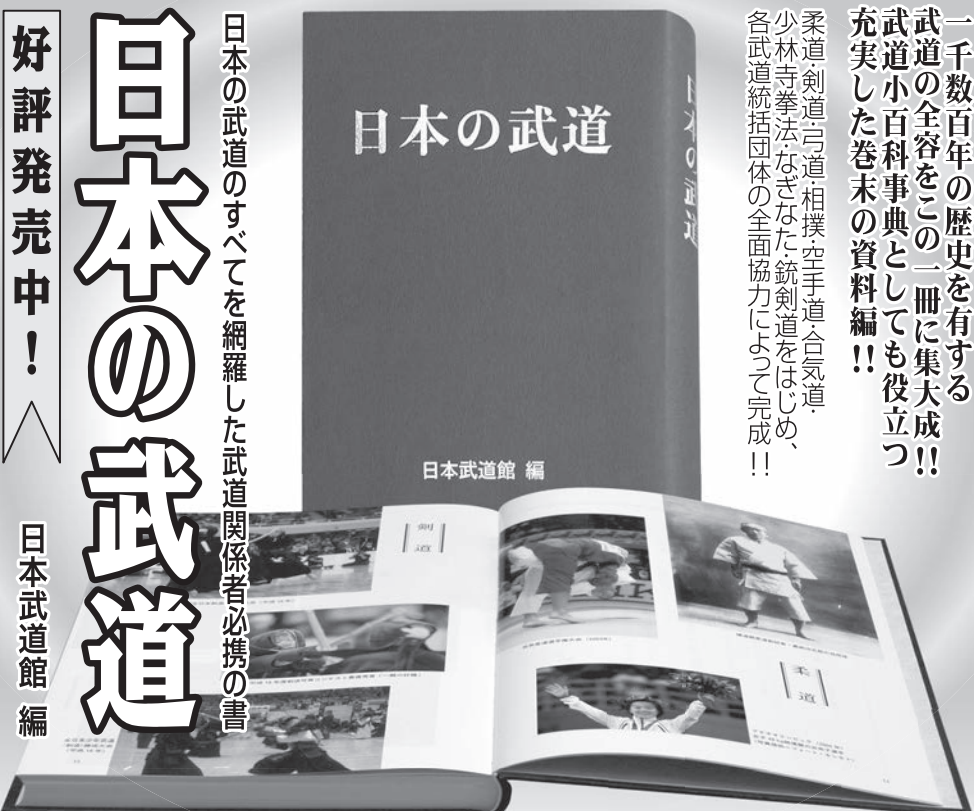
：他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などなごた銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

日本の武道

好評発売中!

日本武道館 編

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

目次

序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長
武道のすゝめ：養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」・「武道憲章英訳文」）
カライ口絵（日本武道館・9武道・10日武協30年のあゆみ）

第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野寛明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え…………… 村田直樹 講道館図書資料部長
第4節 武道の魅力…………… 大保木輝雄 埼玉大学教授

第5節 学校武道の歴史…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道の教育力…………… 菅野 純 早稲田大学教授
第7節 日本武道館…………… (財)日本武道館

第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者
第2節 古武道の技と心……………

第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………
第3節 日本武道学会……………
第4節 日本古武道協会……………
第5節 武道学科等設置大学…………… ①国際武道大学 ②国士館大学
③東海大学 ④日本体育大学 ⑤鹿屋体育大学 ⑥中京大学
⑦天理大学 ⑧筑波大学

第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………
第4節 年表「武道・近代百四十歩の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の変遷…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書…………… (現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。